

回覧



平塚市体協ニュース

第67号 令和2年3月31日

平塚市体育協会機関誌

〔令和元年度〕平塚市体育協会

体育功労者 4 氏を表彰

令和二年二月十一日、平塚市体育協会納会において、令和元年度平塚市体育協会体育功労者四氏の表彰を行いました。ここに主な功績を二紹介いたします(五十音順)。

- ◇飯泉 あさ江氏 (平塚市ゴルフ協会)
◇山崎 伊織 氏(第43回日米大学野球選手権大会 硬式野球 優勝)
◇松村 颯祐 氏(2019年世界ジュニア選手権大会 柔道男子100kg超級 優勝)
◇渡邊 愛子 氏(2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権)

- (3面より続く)
柔道女子63kg級 優勝
◇デーデー ブルーノ 氏(第30回ユニバーシアード競技大会 陸上競技男子4x100mリレー 優勝)
◇富沢 佳奈 氏(第30回ユニバーシアード競技大会 柔道女子57kg級 優勝)
◇中村 文哉 氏(第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 剣道年齢別7人制団体戦 優勝)
◇奈須川 良太 氏(文部科学大臣杯令和元年全日本学生レスリング選手権大会・JOCジュニアオリンピックカップ大会・2019年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 レスリング グレコロローマンスタイル87kg級 優勝)
◇北條 良真 氏(文部科学大臣杯令和元年全日本学生レスリング選手権大会 レスリング グレコロローマンスタイル72kg級 優勝)
◇松村 颯祐 氏(2019年世界ジュニア選手権大会 柔道男子100kg超級 優勝)
◇村尾 三四郎 氏(2019年世界柔道選手権東京大会 柔道男女混合団体戦 優勝)
◇山崎 伊織 氏(第43回日米大学野球選手権大会 硬式野球 優勝)
◇松村 颯祐 氏(2019年世界ジュニア選手権大会 柔道男子100kg超級 優勝)
◇渡邊 愛子 氏(2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権)

昭和四十八年から弓道を始め、平成十九年には平塚市で初めての女子称号者(錬士)となる。平成十一年からは、初心者弓道教室の講師として平塚市弓道協会を支え、理事に就任してからは責任者として積極的に後輩の指導に努め、自身の活躍と併せて平塚の弓道競技の発展に力を注いだ。
現在は、弓道教室はもろろん市民総合体育大会やひらつか市民スポーツフェスティバルの責任者として体育協会の窓口となり、裏方の仕事に力を注ぎ平塚市弓道協会に欠かせない存在となっている。
以上、弓道競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。



※写真は前列左から、茨隆太郎氏、氏家一郎氏、田中國義平塚市体育協会会長、落合克宏平塚市長、鈴木喜明平塚市まちづくり財団理事長、佐々木宏樹氏、中村文哉氏
2列目左から、香川瑞希氏、富沢佳奈氏、市川巧基氏、嶋津俊哉氏、下村勇喜氏、田岡甲太郎氏、駒井斗馬氏
3列目左から、太田彪雅氏(東海大学柔道部)、清水拓実氏(東海大学柔道部)、後藤龍真氏(東海大学柔道部)

五月の少年部団体戦、八月個人戦の各大会の運営に率先して協力している功績は大である。
以上、柔道競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。
◇中村 光幸氏 (平塚水泳協会)
一九八五年平塚水泳協会会員となる。競技者として一九八六年から二〇一九年まで神奈川県実業団大会に出場し、翌

東京2020オリンピック聖火リレー
まもなく東京2020オリンピック、聖火が平塚にやってきました。聖火リレーは6月29日(月)平塚駅南口付近を出発し、県道608号を南下し、国道134号に出て、茅ヶ崎市の茅ヶ崎公園野球場付近まで走ります。
東京2020パラリンピック聖火フェスティバル
平塚市では、8月15日(土)に平塚市総合公園のはらっぱで聖火フェスティバルを開催し、聖火の「採火式」や共生社会の実現に向けたイベントを行います。神奈川県内各市町村で採火を行い、横浜市に集火して東京へ出立させます。(神奈川県の「集火・出立式」は8月16日(日)に開催)

次体の協ニュースは、10月31日発行の予定です。
「平塚市体協ニュース」第67号
発行日 令和2年3月31日
発行人 田中國義
発行所 平塚市体育協会事務局
平塚市浅間町9-1
電話 0463(31)3060
FAX 0463(34)5522
広報委員 中戸川 康夫/重田 明/金子 理人/南雲 弘/星加 悦高/山口 弘子/今村 佳広



「平塚市ソフトテニス協会」

(2面より続く)
近年の活動では、ジュニア世代から社会人レベルを経験することで、競技者として得られることが多くあると考え、協会が

主催する社会人大会に小中学生が参加できるような体制作りを行い、夏季大会と秋季大会に参加してもらっています。また、神奈川県ソフトテニス連盟の主催による親子大会を開催し、「親子の絆」をテーマに選手・保護者が一体となって試合に臨んでもらえるような大会運営を行い、ソフトテニスを通じてマナーの向上等を図っています。本協会は、今後も市民の皆様が参加しやすい運営環境を作つてまいります。

平塚なぎなた協会

平塚なぎなた協会は、昭和五十五年県主催による「なぎなた講習会」が行われ、数名の発起人により会員二十名で発足し、今年で四十周年を迎えます。対外的な活動として、県大会、全国エンジョイ大会、ねんりんピック、錬成大会、審査会等の活動に参加しています。毎週木曜日と月二回の日曜日、総合体育館武道場で稽古しています。会員も小学生から八十代の方まで男女問わず、レベル、体力に応じた稽古に励み楽しんでいきます。平成二十二年十月から、浜岳中学校体育館にて夜間稽古を始めたところ、小中学生から、昼間仕事で稽古が出来ない方も入会され、みんなで楽しく稽古しています。



「平塚なぎなた協会」

多くの方々になぎなたを知っていただくため、春の体験教室、七月の平塚大会、夏期講習会等を開催して、なぎなたの素晴らしさを一人でも多くの方々に体験していただきたいと活動しております。今後、ジュニアの育成や地域との関わりに力を入れ、なぎなたのすそ野が広がるよう努力していきたいと思っています。

- 令和元年 平塚市スポーツ優秀選手及び団体 26氏3団体を表彰
【個人】(敬称略・五十音順)
市川 巧基 第34回全日本学生ライフセービング選手権大会 ライフセービング男子ビーチリレー 優勝
茨 隆太郎 第5回世界ろう者水泳選手権大会 競泳・200m個人メドレー 競泳・400m個人メドレー 優勝
氏家 一郎 第19回ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会 ベンチプレス男子マスターズIII+120kg級 優勝
内村 光暉 2019年度全日本学生柔道体重別選手権大会 柔道男子66kg級 優勝
海野 隆司 第43回日米大学野球選手権大会 硬式野球 優勝
大山 めい 第15回女子ジュニアアジア選手権 ハンドボール 準優勝
香川 瑞希 2019年度オーストリアジュニア国際大会 柔道女子57kg級 優勝
北谷 直輝 吉岡隆徳記念第73回出雲陸上競技大会 陸上競技 YOSHIOKAスプリント男子300m 優勝

(4面へ続く)



※写真は左から、中村光幸氏(平塚水泳協会)、田中満氏(平塚柔道協会)、田中園義(平塚市体育協会会長)、小塚富子氏(平塚市弓道協会)、飯泉あさ江氏(平塚市ゴルフ協会)

加盟団体だより

(1面より続く)
ルでの開催大会で活躍している。一九九八年から平塚水泳協会理事に就任し、市の大会総務として活躍、現在、協会の会計を担当しているほか、二〇一九年から副理事長として協会において中心の役割を担い活動している。

二〇一三年から現在まで、神奈川県水泳連盟の代議員を務めるなど、本市のみならず県内における水泳の普及啓発に貢献している。以上、水泳競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。

平塚卓球協会

ラケットを握り、卓球台に立って、相手のコートにスマッシュが決まる。振り返った子どもたちの顔は、興奮と笑顔であふれています。平塚卓球協会平塚ジュニア卓球クラブは、十一年前、小学生六人からスタートし、現在では、中学生を含め四十六人の部員が所属しています。市内の小中学校十一校、中学校八校に在籍する部員たちは、週二回(火・金曜)、一回二時間の練習に精を出しています。学校は異なりますが、皆、仲良く楽しく練習しています。

実際に二年、三年と続けていくうちに、休憩時間中も練習するほど意欲的な部員も多くなり、小学四年生で、九百球以上ラリーを続けられた子もいます。また、中学生になつてから、神奈川県代表として関東大会に出場した部員もいます。卓球を通じて、新しい仲間とスポーツを楽しみましょう。

平塚市ソフトテニス協会

平塚市ソフトテニス協会は、一九四七年四月平塚庭球協会として発足し神奈川県軟式庭球連

盟に加盟、この年の九月に平塚市体育協会が設立し加盟協会となりました。一九六三年十月に硬式テニス協会が設立されたことにより、軟式庭球協会に改称し、硬式テニス協会と区分しました。そして現在はソフトテニス協会として、平塚市における生涯スポーツ、健康スポーツとして競技の普及に努めておりま

(3面へ続く)



「平塚卓球協会」